

news release

マニユライフ生命の変額個人年金保険 「マニユソリユーション」を高知銀行本支店で販売開始 9行目の窓販取扱い銀行で、取扱い店舗数合計700店舗を突破

マニユライフ生命保険株式会社（本社:東京都調布市、代表執行役社長:トレバー・マシウズ）は、株式会社 高知銀行（本社：高知県高知市、取締役頭取：岡内紀雄）との販売提携により、変額個人年金保険商品「マニユソリユーション」を、8月18日から同銀行本支店において販売開始いたしました。

高知銀行を通じての今回の販売開始にあたり、マニユライフ生命のキース・ウォルター、常務執行役員兼シニアバイスプレジデントは次のように述べています。

「独自の特長により全国でご好評をいただいている弊社のマニユソリユーションを、高知県内に強力な基盤を持つ高知銀行様を通じて販売できることは大きな喜びです。高知銀行のお客様の皆さまにも、資産形成の有力な手段として、必ずやマニユソリユーションの魅力をご理解いただけるものと確信しています」

今回の高知銀行での販売開始により、マニユライフの変額個人年金保険「マニユソリユーション」の窓販取扱い銀行数は9行となり、取扱い店舗数は700店舗を越えました。また、証券会社等も含めた販売提携金融機関総数は12社になりました。

■ 変額個人年金保険「マニユソリユーション」について

「マニユソリユーション」は、昨年2月にマニユライフ生命が全国販売開始した変額個人年金保険商品で、“運用成果に関わらず一時払い保険料の80%に基づく基本年金額を最低保証”“変額個人年金保険としては極めてユニークな元本確保型特別勘定の設定”“元本確保型を含むすべての特別勘定間でスイッチングが可能”“毎年1回解約控除なしで10%の積立金の引き出しが可能”などの独自の商品機能が特長。

また、元本確保型から、フィデリティ投信株式会社、国際投信投資顧問株式会社などが運用する投資信託などを投資対象とする6つのアクティブ型特別勘定を含む、堅実成長型、安定成長型、積極成長型まで、リスクとリターンの程度の違う4タイプ、計10本で構成される特別勘定を備え、お客様の多彩な資産運用ニーズにもきめ細かくお応えできるなど、日本人の投資志向を十分踏まえた変額個人年金保険として全国のお客さまからご好評をいただいている商品です。

マニユライフ生命はカナダに本拠を置くマニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています（2003年7月現在）。マニユライフ・ファイナンシャルは、100年以上の歴史を誇り、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェント及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2003年6月30日現在1,443億カナダドルとなっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。

なお、マニユライフ生命のホームページは以下の通りです。（www.manulife.co.jp）